

## ときわ会 常磐病院 乳腺外科のご紹介

ときわ会 常磐病院では乳腺外科に関する診療を行っています。  
早期の発見から診断・治療、経過観察まで細やかな配慮と  
診察を心がけております。

Breast Surgery

## 乳腺外科医師のご紹介

**尾崎 章彦** OZAKI Akihiko

【専門】外科・乳腺外科

### 受診による早期発見が重要です。

乳腺外科の主な診療対象疾患は乳癌です。女性に圧倒的に多い疾患であること、若年者の発症も多いこと（発症頻度は40歳代から上昇します）が、他の癌腫との大きな違いです。治療から5年以上経過した後の晩期再発も少なくないため、診断から治療、その後の経過観察まで長期にわたる管理が必要となります。

乳癌はマンモグラフィーをはじめとして検診によるエビデンスが最も蓄積されている癌腫の一つであり、検診受診による早期発見が重視されています。一方で、治療法が急速に進歩しており、手術に薬物療法や放射線療法を組み合わせた集学的治療を行うことで、進行癌の方々においても長期生存を達成できるケースが増加しています。

乳房の症状としては、しこりや痛み、乳頭からの分泌物が挙げられます。このような症状を抱えた患者様が受診された場合はお気軽にご相談ください。



#### 〈経歴〉

平成22年3月 東京大学医学部医学科卒業  
平成22年4月 国保旭中央病院初期研修プログラム  
平成24年4月 竹田綜合病院 外科  
平成26年10月 南相馬市立総合病院外科 外科  
平成30年1月 大町病院

#### 〈所属・認定学会〉

日本外科学会 専門医  
検診マンモグラフィ読影認定医  
乳房超音波読影認定医



# 常磐病院 乳がん検診のご案内

常磐病院では、健診および乳腺外科(2次健診含む)の患者様  
に対してマンモグラフィと乳腺超音波検査を行っております。  
検査は全て女性技師が対応しております。また、精密検査や乳が  
ん検診のオプションで乳房のMRI検査も行っております。



## 1 乳がんは、 日本女性の11人に1人が 罹患し、女性がんのトップです

日本女性の乳がん死亡率は年々増加していますが、欧米では減少し続けています。その理由の一つは、乳がん受診率の低さにあるとされています。最近、芸能人の方の告知などで一時的に乳がんへの関心が高まっていますが、2015年-2016年の2年間で40歳～69歳の全国平均受診率44.9%(福島県は46.6%)です。欧米の受診率は80%以上ですので、日本はまだ受診率が低いのが現状です。



## 2 マンモグラフィでは、 ごく小さな石灰化を発見

マンモグラフィとは乳房専用のレントゲン検査で、板状のもので乳房をはさみ、圧迫して撮影する検査です。撮影は、左右それぞれ、上下と斜め方向から、計4回行います(検診では斜め方向のみの場合があります)。乳房を圧迫するのは、平たくして撮影することで乳腺組織の重なりをなくし病変をより鮮明に写し出すとともに、厚みを薄くすることでX線の被ばく量を減らすためです。乳房全体の状況を把握することが出来、乳がんの初期症状のひとつである石灰化(0.1～0.5mmの微細石灰化)を写し出すことができます。乳がんの検診では最も信頼性の高い検査方法だと言われています。



## 3 超音波の反射で しこりを発見

超音波検査とは超音波を出す「プローブ」と呼ばれるセンサーをあて、はねかえってくる音波を画像化して、乳房内部の様子を写し出す非侵襲的検査です。胸に温かいジェルをのせ「プローブ」を直接乳房に乗せて動かし、写し出された画像を見ながら診断を行います。超音波は数ミリの手に触れない小さなしこりを見つけだすことができます。



ときわ会常磐病院では、医師の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。  
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

## 公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00※土曜日は電話対応のみ  
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000